

NKM 免疫細胞療法のご案内

NKM免疫細胞療法 治療方法

NKM細胞による治療と期間

治療は患者様の症状により異なりますが、参考図のように、治療の流れとして、採血した血液の白血球の中のリンパ球から、高純度のNKM細胞を培養したものを約2週間後に患者自己体内へ投与し、これを約1~2週間の間隔をあけて、何回か投与を続けます。

1クールは約2~3ヶ月で、この間に5~6回のNK細胞の投与をし、患者様の免疫力を高めながら、がん細胞など、悪性の細胞と闘わせていく治療です。



1クール5~6回が平均的なNK細胞投与になり、1回に投与するNK細胞の量は、患者様の状態にもよりますが、おおよそ15~30億個のNK細胞投与になります。

治療の流れ

治療手順

一般的に計算した場合、健康な人が持っているNK細胞量の約15~20倍となり、約15~20人分に相当する細胞数となります。血液の量は、通常、一人の体内に約4~5リットルの血液が循環しており、NK細胞量は通常、約8000~9000万個と言われております。

簡単な計算上においても、この活性化された自分のNKM細胞が1回あたり15~30倍になって体内に戻るわけですから、ガン細胞を攻撃するその免疫力の高さがどれほどかご理解いただけるかと思えます。

※NK細胞による免疫療法は、保険外診療となります。

患者様のお名前等の個人情報は通常の病院同様堅く保護されます。

また希ではありますが、患者様により多少の吐き気や熱が出る方もいらっしゃいます。すぐに収まりますが、翌日になっても収まらない場合は、ご連絡下さい。

抗がん剤、放射線を受けられる方は、医師にご相談下さい。NK細胞がより元気な内に採血されるとより効果的です。



治療手順

1. 電話連絡

当小田クリニックまでご相談下さい。

2. 検査資料準備

可能であれば検査資料（X線・CT・MRIのフィルム）、各種検査データ、などがあればご準備下さい。

3. 相談時間予約

ご都合の良い日をご連絡下さい。

4. 来院

患者様本人・ご家族の方、若しくは代理の方がお越し下さい。

5. NK免疫療法の相談

治療に関する説明、相談を患者様・ご家族の方と行います。

6. 治療方針を決定

治療方針、治療期間等を決定いたします。

7. 治療開始

治療方針に基づき、治療を開始します。

NKM免疫細胞療法の特徴

免疫細胞を十分な量増やし、免疫細胞療法を成功させるための培地（栄養成分）は、心臓部といえます。小田クリニックでは、ヒトNKM細胞培養用培地の開発に成功し、海外でも成果を上げています。

小田免疫研究所では、この培地の研究開発を続け、最高品質のNKM細胞培養培地を新しく開発しました（OKMシリーズ）。これに伴い、小田クリニックでは、最高品質に最適化されたNKM細胞治療を行っています。この培地は小田クリニック免疫研究所のオリジナル商品で、現在小田クリニックのみが使用しています。他のクリニックのNK細胞とは異なります。

NKM免疫細胞療法とは

NKM免疫細胞療法とは、NK細胞を主とする細胞の増殖と同時に、T細胞・B細胞などをミックス(M)させて培養し、ガン細胞を強く攻撃する治療法です。NKM細胞治療の場合、1回におけるNK細胞の数は、T細胞・B細胞・樹状細胞などを含む約15-30億個という驚異的な数となっております。

集中治療法

NK細胞治療は、上記の基本型に加え、ガンなどの病状により、「集中治療」があります。これは、通常1クルのNK細胞投与を短期間に先行して投与する集中型です。それぞれ患者様の病状に合わせての個別対応となりますので、病状により、治療法を決定します。